乗合い事業の今後の方向性及びスケジュール

1 これまでの経緯

- ・ねやがわ乗合いワゴン事業の実証実験を踏まえ、タクシーを活用した「乗合い事業」を令和3年4月から実施
- ・ねやがわ乗合いワゴン事業と同様に、3地区（成田、仁和寺、河北地区）を実施
- ・公共交通空白地域11地区（鉄道駅800m、バス停300m）のうち、残り8地区（池田地区、楠根地区、国松地区、黒原・御幸地区、木屋・太間地区、讃良・新家地区、田井地区、高宮地区）の拡充を検討
- ・乗合い事業と乗合いワゴンを比較して、利用件数・利用人数とも増加しており、買い物や病院への通院など移動に困っている市民が多く、また、今後、高齢者人口が増加することから、今後も利用する市民が増加するものと思われる。

2 今後の方向性

- ・乗合い事業に関する状況や課題等を整理するに当たり、現在、運行している3地区においてアンケート調査を実施中
- ・アンケート調査の検証を行い、現行の事業スキームの在り方などを整理する。
- ・拡充予定の8地区の地元自治会や交通事業者等との協議

3 現状の課題

- ・過度に利用する方への対応について
- ・身分証明書などの確認について
- ・料金の在り方について 等

4 今後のスケジュール

【令和4年度】

- ・現行3地区でのアンケート調査の実施
- ・アンケート調査の検証
- ・現行の事業スキームの在り方などの整理

【令和5年度】

- ・拡充予定（8地区）の地元自治会との意向調査
- ・交通事業者等との協議

【令和6年度】

- ・拡充予定（年2～3地区程度）